

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!

e-pile next

だから選ばれる… コンパクト施工で高支持力!

店舗併用共同住宅新築工事

本件は、横浜市旭区に建設される鉄筋コンクリート造(RC)地上6階建店舗併用共同住宅の杭基礎工事です。この現場は、地下有建物の解体後で、且つ既存杭(既製コンクリート杭)を引き抜かない条件での新築計画のため、根伐りした状態の限られたスペースでの施工条件と、偏心を伴う大きな軸力に対しての設計が必要でした。場所打ち杭との競合でしたが、e-pile next工法のコンパクト施工、残土処理が不要な事、また、e-pile next工法の高い支持力等を評価していただき、元請現場担当者様とスロープ造成や施工スペース確保の綿密な造成計画、搬入計画の打合せを重ねた結果、e-pile next工法をご採用いただきました。実施工においても、e-pile next工法の杭径φ508.0mm 拡翼径Dw1250mm 2,698kN/本の高支持力杭仕様と、施工機DHJ-45を駆使した施工で、設計深度まで確実に貫入し、予定工期通りに完工したことで、高い経済性と安心した施工品質をご提供することができました。元請様には、スロープ造成や土の盛替え等、限られた施工スペースのなかで施工が滞らないよう多大なご協力をいただきました。



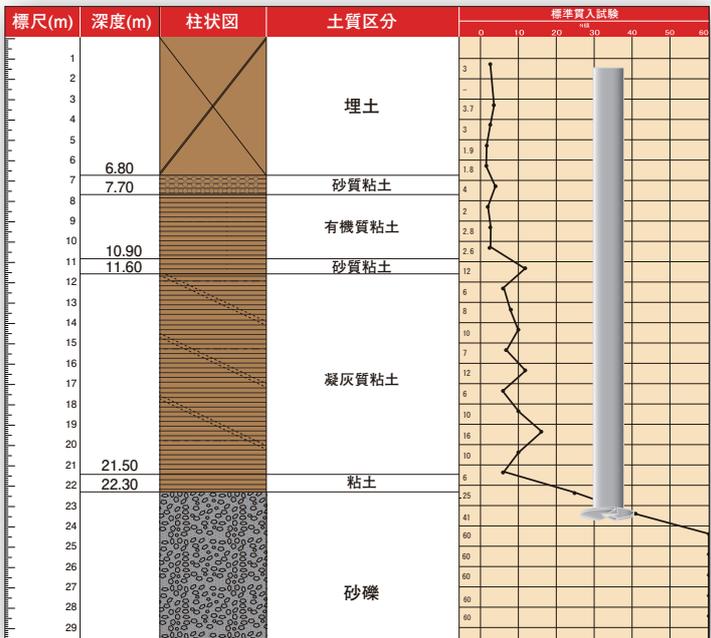
☆ご採用いただきまして、誠に有り難うございました。



工事概要

工事名	店舗併用共同住宅新築工事	杭 径	φ508.0 mm・φ457.2 mm
施工地	横浜市旭区二俣川	拡翼径	Dw 1250 mm・Dw 1100 mm
用途	店舗併用共同住宅	拡頭径	-
構造	鉄筋コンクリート造 (RC) 地上6階	深 度	SGL -24.47m
建築面積	1992.65 m ²	支持力	2698kN・2106kN
工期	2021年10月26日~2021年11月11日	本 数	18本・7本

ボーリング柱状図



国土交通省大臣認定工法

登録番号: KT-160071-A

国土交通大臣認定 TACP-0483 砂質地盤(硬質地盤含む) TACP-0484 粘土質地盤

日本建築センター 基礎評定(引抜支持力) BCI評定-FD0540-01 砂質地盤 BCI評定-FD0541-01 硬質地盤 BCI評定-FD0542-01 粘土質地盤

日本環境協会 エコマーク認定 08 131022号

全ての鍵は杭先端にあり

公共土木・公共建築での活用拡大 国土交通省「NETIS」

■ 全ての鍵は杭先端にあり

杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

■ 貫入性の問題を…「**菱型穴**」により解決しました。

■ 拡翼変形の問題を…「**特殊部**」により解決しました。

■ コストの問題を…「**自社施工**」により解決しました。

■ 高力構造/拡翼断面図

杭本体、特殊部、厚肉材

(両面溶接) (特殊部/分割構成)

■ FEM解析図

建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

e-pile 検索

コロナの影響で売上げが減少している皆様へ

事業復活支援金のご案内 (2022年1月20日時点の情報となります)

概要

新型コロナウイルス感染症により、大きな影響を受ける中堅・中小・小規模事業者、フリーランスを含む個人事業主に対して、事業規模に応じた給付金を支給します。なお、給付要件等は、引き続き検討・具体化しており、変更になる可能性がございます。

対象者

新型コロナウイルスの影響で、2021年11月～2022年3月のいずれかの月の売上高が、2018年11月～2021年3月までの間の任意の同じ月の売上高と比較して50%以上又は30%以上50%未満減少した事業者(中堅・中小・小規模事業者、フリーランスを含む個人事業主)

給付額

◇上限額

売上高減少率	個人事業者	法人		
		年間売上高* 1億円以下	年間売上高* 1億円超～5億円	年間売上高* 5億円超
▲50%以上	50万円	100万円	150万円	250万円
▲30%以上50%未満	30万円	60万円	90万円	150万円

*基準月(2018年11月～2021年3月の間で売上高の比較に用いた月)を含む事業年度の年間売上高

◇算出式

給付額=(基準期間(※1)の売上高)-(対象月(※2)の売上高)×5

※1「2018年11月～2019年3月」「2019年11月～2020年3月」「2020年11月～2021年3月」のいずれかの期間(対象月を判断するため、売上高の比較に用いた月(基準月)を含む期間であること)※2 2021年11月～2022年3月のいずれかの月(基準期間の同月と比較して売上高が50%以上又は30%以上50%未満減少した月であること)

申請方法

登録確認機関(※1)による事前確認の後、申請用のWEBページ(※2)から申請いただけます。

※1 1月24日の週から事務局HPにて連絡先等を公表予定
※2 通常申請の受付開始時(1月31日の週に開始予定)に、事務局HPにて開設予定

開始時期

1月24日の週

制度詳細(申請要領、給付規程等)を公表予定
事前確認の受付開始予定

1月31日の週

通常申請の受付開始予定
(特例申請については、2月中旬に受付開始の見通し)



▲経済産業省HP

※詳細は経済産業省のホームページをご覧ください。

ワンポイント 健康コラム 大豆パワー

寒い日が続いておりますが、体調など崩されておられませんでしょうか。さて、2月3日は節分です。今回は節分と豆まきに使う大豆についてご紹介させていただきます。

節分の由来について

節分といえば豆まきです。豆は「魔滅」「魔目」と当て字ができますように「魔を滅する」「鬼の目を打つ」と考えられ、鬼を追い払う力があると信じられてきました。もともと中国の行事「大饗」でも五穀を用いて厄除けを行っており、これが日本の「追儺」に取り入れられ、今の節分の形になりました。節分には邪鬼を追い払い、一年の無病息災の願いが込められていますが、豆まきに使う「大豆」も健康に良い食材とされています。



大豆の健康効果とは

私たちが普段何気なく食べている和食は、2013年にユネスコの無形文化遺産に登録され、世界中から注目されています。日本人の寿命が長いのは、和食が健康長寿食であるからです。そんな世界に誇れる和食に欠かせないのが豆腐や納豆、醤油、味噌などです。これらの原料は全て「大豆」になります。

「大豆は畑の肉」と言われているのを、聞いたことはないでしょうか。

大豆にはたんぱく質が肉や魚に匹敵するほど多く含まれ、1873年のウィーン万博博覧会で高く評価されました。たんぱく質は、私たちの臓器や筋肉、皮ふ、髪、血液などを構成するうえで欠かせない成分です。大豆たんぱく質は、加工されると消化吸収率が納豆では91%、豆腐では95%と高くなります。また大豆は肉に比べて低カロリーな上、脂質、糖質、ビタミンB1、ビタミンE、葉酸、カリウム、マグネシウム、カルシウム、リン、鉄、亜鉛、銅など、栄養素の種類がとても豊富で、ビタミンやミネラルの含有量が多いのも特徴のひとつです。

大豆を食べることは生活習慣病の予防や健康維持、さらには美容やダイエットに役立つとされています。まさに節分の主役となるにはうってつけ。体の邪を祓うにもふさわしい食材といえるでしょう。



鬼は外! 福は内! 大豆のパワーで邪をはらい、健康的にすごしましょう!



経理マンが行く

オミクロン株

新しい年に入り、大寒も過ぎて徐々に季節が春に近づいて来ますね。とは言え、まだまだ北風が吹けば凍えるほど寒い季節ですので体調管理には充分ご注意ください。さて、今年に入りオミクロン株が猛威を振るっています。私は喘息の持病持ちで、花粉の時期と重なって咳がひどくなります。ウィルスに感染している訳でもないのに、やはり周囲の目が気になり、出掛けるのも気が引けてしまいます。出掛けるときは、喘息ですという文言の書かれているキーホルダー、ワッペン等を至る所に付けて強めの「喘息」アピールを醸し出しながら出掛けます。少し咳き込む場合はそのキーホルダーやワッペンを見せつけるようにチラつかせますが、そんなもの誰も見ないし、こちらに気を遣って頂いているのだと思いますが皆さんシーンとされています。こんな時は私だけでなく、持病を持たれている方達はともやませない気持ちになるのではないのでしょうか。喘息は少しのストレスでも誘発するので、「咳をしないように」とドキドキしてしまうと、案の定ちゃんと咳は出てしまいます。きっと「そう、そう」と頷いていらっしゃる方もいると思いますが、喘息をきちんとコントロールし、感染症にならぬよう体調の管理をするのは必須です。オミクロン株は、重症化しないとも言われていますが、政府は軽症(肺炎所見なし)の方でも「基礎疾患(糖尿病など)を増悪させたり、合併症(心筋梗塞など)を併発しており、全身状態不良の高齢者が多数入院している。また、妊婦や透析など医療依存度の高い若年者も少なくない」とのことです。つまり、肺炎以外の基礎疾患の悪化や他の合併症で入院が必要になるケースがあるということになります。今年に入ってからイギリスでは17歳以下での入院数が急増してきました。当初の新型コロナは「子供は重症化しない」というのが特徴の1つでしたが、オミクロン株は変異数も30もあるため、一概には言えなくなっています。また、小児はワクチン接種の状況が異なるのも理由の1つとしてあげられますね。繰り返しになりますが「若いから大丈夫」「小さい子供だから感染して問題ない」と思わず、基本的な感染予防対策をするよう心がけることが必要です。持病を持っておられる方は日頃より心がけが強いとは思いますが、そうでない方も重症化が少ないから『ただの風邪』と侮らず、より一層の感染拡大防止に努めましょう。その心がけが誰かの命を救う事にきつとつながると思います。

